

みどり〜む

STOP 温暖化

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会

グリーン北杜だより

グリーン北杜ホームページ <http://www.greenhokuto.jp/>

ご挨拶

会長 篠原 充

この度の「みどり〜む」第6号の発刊に伴いご挨拶申し上げます。

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会(グリーン北杜)も今年で9年目となり、地域の活動団体として、いよいよ一つの節目を迎えようとしております。これも一重に会員各位のご協力と市民の皆様のご理解によるものであり、心より感謝申し上げます。

さて、今年度も恒例の事業「子ども環境フェスタ」が開催され、子どもと大人が地球温暖化や環境問題に関して体験し学ぶ、良い機会となりました。このことにより日常生活の節電や消費生活の節約についての話題が広がり、温暖化防止の取組みへとつながっていくことを期待するところであります。

また今年度は、北杜市の自然資本とも言える、豊かな「水・森」、その恩恵を受ける地域社会、そしてこの環境を地球温暖化の影響から守るための再生可能エネルギー利活用が、バランスよく普及啓発されて行くことを目的とした環境保全事業を実施しました。

人間社会において、身近な個々・局所的な環境変化は捉え易いものでありますが、地球温暖化の影響による生物多様性や植生の崩壊などの環境影響は、日常生活からかけ離れ遠い存在になりがちです。とは言え、地球温暖化の最悪のシナリオに向けたカウントダウンはもう既に始まっているのです。真の環境側面を捉え、人類共通の地球温暖化防止の認識や思考に至るには、世界各国・国民・地域住民などの領域を問わず、全人類が地球規模・子ども達の未来環境へと視点を変えなければならないのです。

グリーン北杜は、今後ともこのような地域における活動を通じ、地球温暖化防止のためのCO₂排出削減や、再生可能エネルギー利活用の普及・推進活動に取り組み、この類稀なる地球の自然環境の保全と、新たな時代の地域社会の創造に貢献していきたいと考えております。

結びといたしまして、この「みどり〜む」から、大勢の皆様に環境保全活動や日常生活の取り組みの輪が広がって行くことをご期待申し上げまして、ご挨拶といたします。



水・森資源の保全と次世代エネルギー利活用の 協調推進事業

私たちはこれまで、北杜市の豊かな自然から様々な恩恵を受けています。しかし、この自然環境や私たちを取りまく環境はいま、地球温暖化による異常気象や海水面の上昇、生態系への影響、そして感染症拡大のリスク等が懸念されています。そこで、この課題に市民として取り組むためには、本来の自然環境保全と再生可能エネルギーの推進、地域に暮らす人々、その3者のバランスのとれた取り組みが望まれると考え、以下の3つの事業を行いました。

※この事業は、企業や個人の寄附金である北杜市環境保全基金を活用して実施しました。

外来種見つけた！～靴の底をきれいにしよう～



自然の価値ともいえる植生を維持するために、外来種対策や固有種等の保護活動を行いました。

8月1日(土)、「自然観察会」を開催し、八ヶ岳美し森を散策しながら、どのような外来種が生息しているか観察しました。また、啓発ポスター・靴底の泥落としブラシを設置しました。

外来種被害予防三原則

- 1 入れない 悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「入れない」。
- 2 捨てない 飼養・栽培している外来種を適切に管理し、「捨てない」(逃がさない・放さない・逸出させない)。
- 3 拡げない 既に野外にいる外来種を他地域に「拡げない」(増やさない)。



特定外来生物 ※1

オオキンケイギク



オオハシゴソウ



アレチウリ



※1 特定外来生物とは、海外起源の外来種で、生態系や人の生命・身体、農林水産業への被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれのある生物で、外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)に基づいて指定された生物のことです。

特定外来生物に指定された生物は、飼養・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入・野外に放つこと・種をまくこと等は原則禁止されており、違反した場合には罰則が課せられます。

河川流域環境踏査・小水力発電可能性調査



8月25日(火)エコパークエリア内の白州町・大武川の水源及び河川流域の環境踏査並びに小水力発電導入の可能性について調査・記録を実施しました。



尾白川取水口調査



ヴィレッチ白州調査



大武川地区調査

再考“北杜の水”巡り 時代と共に移り変わる水資源の利用～新田開拓から最先端農法～

9月28日(月)、白州地区内にある水耕栽培施設、酒造所、菓子メーカー、市内の堰などをバスでめぐり、身近な水について改めて考え、接するツアーを実施しました。



サントリー天然水南アルプス白州工場一般見学コースのほかに加えて、森の保全活動、森の生き物の話をお聞きしました。



水耕栽培のドームファーム北杜にて、最先端栽培から加工・包装まで見学させていただきました。

参加者からの声

- ・北杜市の発展が自然の中で育まれた水とともにあることを実際に感じ取れたツアーでしたが、一方でその豊かできれいな水を、どう守っていくかもしっかり考えて行かねばならないとも感じました。
- ・南アルプスの天然水の素晴らしさ、改めて知ることができました。これからももっと、水の大切さを感じながら生活をしたしたいと思います。
- ・常日頃、環境問題も考えているので、今日は良い勉強になりました。
- ・見学の際にすれ違う皆さんや工場内で働く皆さんの対応もとても気持ちよく、誇りを持って働いてらっしゃる様子が伺い知れました。北杜市が進める農業による市の振興の一端を感じ取ることができたように思っております。

第6回子ども環境フェスタ i n 北杜〜子育ての杜〜

11月28日(土)、「第6回子ども環境フェスタ i n 北杜〜子育ての杜〜」を開催し、会場の高根体育館は多くの市民で賑わいました。ワークショップでは、真剣に取り組む子どもたちの姿が見られ、また、ステージ公演やスタンブラリー抽選会などを楽しみました。



子ども環境標語コンテスト入賞作品

子どもたちの環境問題に対する理解と関心を深め、積極的に地球温暖化防止や環境保全活動を行う意欲を高めるために、市内小学生を対象に環境をテーマとした標語を募集しました。1,415点の応募をいただき、子ども環境フェスタ内において入賞者を表彰しました。

自然環境部門（低学年）

市長賞 高根清里小学校 1年 石原 ゆず
うつくしい ほくとんのしぜん みらいまで
教育長賞 武川小学校 3年 花田 瑠華
そのゴミを 活かすもずてるも きみしだい
会長賞※ 明野小学校 2年 本間 優聖
地球は生きものみんなのおうち きれいにそうじで気持ちいいわ

自然環境部門（高学年）

市長賞 小淵沢小学校 6年 藤村 門土
僕たちの 小さな気づかい 地球保護
教育長賞 須玉小学校 4年 植松 彩花
節電・節水・リサイクル みんなでやるじゃん エコ活動
会長賞※ 長坂小学校 4年 沢田 岬
守ろうよ オオムラサキが とべる森

テーマ部門「水」（低学年）

市長賞 長坂小学校 1年 浅川 蒼真
きれいなみず おこめもやさいも おいしくそだつ
教育長賞 明野小学校 1年 小清水 陽
たいせつな みずは みどりの おくりもの
会長賞※ 泉小学校 1年 小林 昊介
まようもきらききれいだな いずみのながれは こころのふるさと

テーマ部門「水」（高学年）

市長賞 高根東小学校 4年 木次 涼太
大切に 水は大地の プレゼント
教育長賞 白州小学校 4年 竹下 晴喜
水クマと 水を守るよ みんなでね
会長賞※ 小淵沢小学校 4年 佐藤 郁歩
いい森で おいしい水が 生まれるよ

※北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会会長賞

環境学習会

市内において、学校や団体等からの要望により、北杜市環境学習プログラムによる環境学習会を行っています。地球温暖化問題や環境保全に興味を持っていただくため、今後も積極的に取り組んでいきます。

電気はどこから来るの？

H27.10.14 明野中学校1年生 37人



コピー用紙でハガキ(再生紙)作り

- H27.6.3 ワクワク教室Kidsこぶち 49人
- H27.8.10 明野図書館 9人
- H27.9.8 北杜市障害者総合支援センター 19人
- H27.9.11 北杜市障害者総合支援センター 19人



牛乳パックで小物入れ作り

H27.12.15 ワクワク教室Kidsこぶち 35人



エコプロダクツ 2015 見学バスツアー

日本最大級の環境展示会を見学し、さまざまな企業の環境に関する最新の情報や技術に触れることができました。
12月12日(土)



北杜サイト太陽光発電所ガイド

市からの委託により、北杜サイト太陽光発電所の定期見学会視察ガイドを行いました。クリーンエネルギーに対する参加者の意識の高まりを実感しています。

協力事業



市役所グリーンカーテン設置作業



市こみ減量・リサイクル推進キャンペーン



ほほえみふぉ〜らむにて



グリーン北杜の活動と期待する今後の活動に思う事

小淵沢町 進藤 幸夫

私がこの会での活動に参加したキッカケは・・・と言いますと。

そう、あれは平成 20 年 3 月設立総会の資料、そこには確かに私の名前が・・・
そして、いつの間にかグリーン北杜の会員に・・・。

自分でもそんなにと思っていましたが、もう「子ども環境フェスタ」に 5 回も参画していたなんて・・・!

環境にいいこと・・・、いま自分にできることって何だろう・・・?

定年になってから考えるなんて、なんて たるんでいんでしょうか・・・!

今日、地球の温暖化が叫ばれていますが、ひと昔まえは少子高齢化がしきりに語られて来ました。そして、あっという間にその現実を通り越し超少子高齢化社会へと突入しました。その対策としての遅ればせながらの政策は焦げ付き、なかなかポジティブな方向へと進まないのが現実かと思います。

この地球温暖化も語らいの内に時が流れるばかりで、何ら対策が計らわなければ「ノアの箱舟」が現実味を帯びる時が近い将来おとすれることも覚悟しておかなければならないと思います。

温暖化防止で叫ばれていることは「エコ対策」。しかし、秩序なきエコ対策事業の取り組みは「エゴ対策」となってしまう、いずれ何らかの軋轢が生ずるように思われます。そして、その責任はいったいこの誰が負うだろうかと考えてさせられてしまいます。

こんな混沌とした時代に、まず自分で出来る事として頭に浮かぶのは、自覚すること、そして強制ではなく大人の責任として本当の「エコ推進」の取り組みを広めていく工夫の一助を担っていければ良いのかなと思っている今日この頃です。

いま言う、この地球温暖化の取り組みを、私の業に係わりのある農地に置き換えてみました。まずは、水田には水が付きものです。しかし水が張られていない水田が沢山あります。これは国の政策から来るものであり、農業収入から見た経済整備しか見ていない事業展開の結果とも言えるのではないかと思います。

そのようなことから、今後の私の温暖化防止活動のキーポイントとしては、これまでの「水」「森林」に、環境影響面積の多い「農地」を加えて取り組んでいきたいと考えています。そうすることによって、より有効的な対策の1ページが見いだせるのではないかと期待しているところであります。

会員団体紹介

北杜市消費生活研究会

会長 草野 香寿恵

私たち北杜市消費生活研究会は、消費者としてまた、地域の消費者団体として、消費生活に関する情報の収集や消費者に対する情報の提供、啓発、消費者被害の防止活動を行い、消費生活の安定、向上を図るために自主的な活動として、幅広く取り組んでいます。

近年、地域、家族のつながりも弱まる中で、若者から高齢者まで消費者問題が多様化・深刻化し特に、被害に遭うリスクの高い高齢者などへの見守りが必要となっています。

また、子ども達への消費者教育・環境教育も必要と言われる中、私たちの会では、目標の一つである「他団体との交流を深める」と言う事から、グリーン北杜の団体会員として、毎年開催される「子ども環境フェスタ in 北杜」に出店しリフォーム教室では、牛乳パックから小物入れ、地産地消では、北杜市産の米粉から、ワッフル・クレープ作りで3Rの普及実践活動を行っています。

親子環境学習に於いては、グリーン北杜のメンバーと一緒に地域の小学校や施設に出向き廃油からの石鹸・キャンドル作り。古Tシャツからのマイバック作りで、ごみ減量作戦を実践しています。

さて現在、日本の食糧の約6割が海外からの輸入に依存しているにも関わらず、日本の現状は、年間2,801万トンの食品廃棄物等が出されています。この内、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は、642万トンと試算されています。

食品ロスの約半分の312万トンは、一般家庭からのものです。

そこで、消費生活研究会では、食品ロス削減に向け、会員やひよこルームの母親に「家庭生ごみ組成調査」を依頼し、今後の食生活を見直し無駄のない消費生活と環境保全に努め、会員減少の中で、グリーン北杜との協働で、安全・安心な住み良い地域づくりの実現を目指して、活動を続けて行きたいと思っています。

column

糖尿病と地球温暖化

私は 40 代のおわりの頃に、それまでの生活の不摂生ために、糖尿病になってしまった。

血糖値が300だった。いきなりインシュリンの注射を、一日 4 回毎食後と就寝前に自分で打つはめになった。自業自得であった。

原因は、暴飲暴食だった。

医者に、「見える油と砂糖を避け、適度の運動で、体重を減らすこと、50 代に治さなければ、一生インシュリンが必要であり、放置すれば脳梗塞、心筋梗塞、失明、手足の壊疽から死にいたる」といわれた。

医者のお言に従い、10 年で注射はしなくてよくなり、いま、数値は平常になっている。

山梨県地球温暖化防止活動推進センター運営をまかされて、地球温暖化の原因と対策が、糖尿病によく似ていると思った。

化石エネルギーの過剰な消費、CO₂数値と気温の上昇。その結果は気候変動の激化と地球環境への負荷の増大。

類似点で言えば、私もそうだったが言い訳に、「今更、俺一人がいまさら対処したって遅い、先も短いし、成るようにしかならない」と言って放置する患者が多いのも糖尿病と同じだと思える。

「病は長いあいだに自身でつくりだしたものだ、治癒にも同じ期間が必要だ」、と医者にさとされた。

200年間増やしたCO₂は、やはり削減するのに200年を要すると、温暖化対策に従事して思った。

NPOフィールド21 坂本 昭



地域で学ぼう！！地球温暖化防止活動推進プログラム

グリーン北杜では地域の環境学習会開催に取り組んでいます。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

内容、所要時間、場所等はご希望に応じてアレンジ可能です。

- 活用方法／公民館活動、婦人部活動、育成会活動等
- 対象人数／10名程度～
- 申込み方法／グリーン北杜事務局までご連絡ください。



〈プログラムの一例〉

- ・実践！エコクッキング
- ・電気はどこから来るの？（室内版）
- ・太陽エネルギーの秘密？
～ソーラークッカーで料理！～
- ・てんぷら油でせっけん作り！
- ・川の生き物を調べよう！

など

このほかにもご希望に沿った学習プランに対応します。

グリーン北杜（北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会）

・グリーン北杜とは

グリーン北杜（北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会）は、「地球温暖化対策の推進に関する法律第26条第1項」に基づく温暖化対策・地域協議会で、平成20年3月に設立しました。北杜市内の地球温暖化防止対策とクリーンエネルギーの利活用の推進のため、市民、団体、事業者、行政等が協働し、共に考え、具体的な実践行動や普及啓発活動に自主的・自発的に取り組んでいます。

・グリーン北杜の構成

グリーン北杜は大きく3つの部会で構成されており、それぞれの専門性を活かしながら互いに連携を取り事業を進めています。

◆地球温暖化対策部会

民生部門における地球温暖化防止活動の推進および、地域における環境学習を担当

◆クリーンエネルギー推進部会

水力発電、太陽光発電、バイオマス利用など、自然資源を活かしたクリーンエネルギーの利活用の推進を担当

◆北杜グリーンツーリズム推進部会

北杜市次世代エネルギーパークの実現に向け、エコツアーの企画や運営を担当

●会員企業・団体（順不同）

北杜市環境事業協同組合、(有)クリーン・トレード、浅川太陽光発電所、山梨自然エネルギー発電(株)、(株)カナマル(株)ピー・エス・ワイ、(有)金光商事、金精軒製菓(株)、エコサポート、国土興産(株)、(有)山梨電水社、スパティオ小淵沢、イワショー(株)、アルソア本社(株)、(公財)キープ協会、富士工器(株)山梨工場、(株)西商店(株)茅ヶ岳観光バス、(株)保坂環境、原商店、峡北衛生社(有)、(有)大泉タクシー、(株)塩川クリーン、(株)NEXT(有)アグリマインド、北杜市消費生活研究会、NPOハイドロクリーン21、NPOえがおつなげて、NPO森造、ハヶ岳興民館、峡北地区林業研究会、NPOハヶ岳コミュニティ放送

**グリーン北杜
会員募集！！**

あなたのアイデアを地域の環境保全に活かしてみませんか

■お申し込み・お問い合わせは事務局まで ■年会費 個人 1,000円 団体 3,000円 事業者 10,000円

グリーン北杜に関するお問い合わせ

グリーン北杜事務局（北杜市生活環境部 環境課内）

TEL.0551-42-1341 FAX.0551-42-2235

グリーン北杜 HP <http://www.greenhokuto.jp/>